



# ゆいぐみだよ！

令和5年9月 家久保育園

## 【年上の友達かっいいいな…から自分たちの遊びへ】

きく組の“だるまちゃんランド”や“スタバヤさん”を見て、ゆり組でも「やってみよう！」と“31ごっこ”が始まりました。

また、製作遊びでの的当て遊びをつくった友達からヒントを得て、クラスに置いてある科学の本に載っていた空気砲での的当て遊びへと発展していった子達もいました。

現在子ども達は、忍者の修行コーナーや31コーナーを取り入れた“忍者村”をつくりたい！と、忍者のお城づくりや迷路づくりが始まっています。

身近な生活経験を遊びに取り入れて遊ぶ中で、友達と共通の目的をもってイメージした物を形にして遊んだり、的当て屋さんをする中で、お客さんにルールを説明したり、やり取りしながら取り組む姿が見られています。



## 【カブトムシってすごい！】

暑さ厳しい夏。外での活動が難しい中でも、夏の季節ならではの生き物に触れ合ったいと願い、クラスにカブトムシを連れて行きました。雄2匹と雌1匹に子ども達が“かぶとちゃん・カブロン・おはなちゃん”と、名前を付けて大切に育てています。

おはなちゃんが卵を産み、幼虫が生まれて日に日に大きく育っていく姿に子ども達は「もうこんなに大きくなって！」と驚きながら毎日カブトムシや幼虫のお世話をしています。先日カブロンがひと夏の命を終えました。「お墓に埋めてあげよう」「今までありがとうって言おう」と、子ども達から話が出て、皆で「今までありがとう」と、手を合わせました。

身近な生き物を育てる中で、当番がエサやりをするといった、生活の中で与えられた役割を責任をもって果たす姿が見られたり、愛情をもって関わることで、生き物には命があることを知ったりする経験が積み重なっています。



## 【運動会楽しみだよ♪】

「運動会でどんなことをしようか」と、クラスで話し合いました。31のアイスヤさん！カブトムシになって競争したい！と、自分たちが普段遊んでいる遊びや、興味をもっているカブトムシを競技に取り入れたいと話がまとまりました。「カブトムシになって飛びたい！」「蛹にならないとカブトムシになれないよ」など、それぞれが思いを言葉にしなが、競技内容を考えたり自分のなりたいカブトムシのお面づくりをしたりしました。

オープニングで踊るポンポンバルーンも太鼓リレーも、「今日はしないの？」「給食終わったらする時間ある！？」と毎日楽しみながら取り組んでいます。当日は大きな声援と拍手をお願いします^^



## 【運動会のお願い】

障害走の競技途中にカブトムシのお面をかぶりません。髪の毛の長い女の子は、自分でお面がかぶれるように髪の毛を下の方で結んでください。

来月より午睡の時間がなくなります。子ども達一人一人の様子を見ながらしばらくは静的な遊びを中心に無理なく過ごしていきたいと思ひます。お子さんの体力面を考慮し、早めに就寝する習慣をつけましょう。心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

※午睡布団が必要なくなる際に、改めて玄関に掲示させていただきます。